

第六回 香川地区 文化祭

広報 かがわ

第94号

編集発行

香川自治会
広報委員会
興版印刷所

香川の人口
9,648人
男 4,806人
女 4,842人
香川の世帯数
2,798世帯
(10月1日現在)



▶それぞれ素晴らしい出来ばえでした。

文化祭

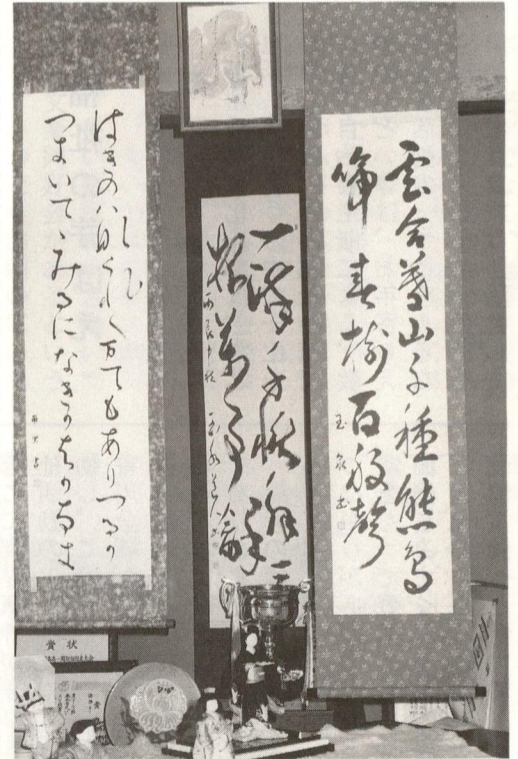
見たまま

第三町内会 西村 ひとみ

心配しておりました雨もあがり曇り空のなか、香川地区文化祭が第一青少年広場が主会場として開かれました。

子供達の神輿担ぎでスタートした第六回香川地区文化祭広場には香川商工会の福引に開催前より長い列が出来大繁盛、婦人会の野菜類の即売は大根が大人気、神輿保存会の売店、子供会のバザー等も人、人の山でしたが中でも人気の集中は、お年寄りが先生のわら芸、ロープ結びの手ほどき、十二種類の観賞竹の展示等で例年の文化祭と内容も変り広いと思っていた広場もこの日は狭く感じました。

今年のお年寄りに参加者も多く指導に当たられたお年寄り先生も大忙し、しめ縄作りをされる主婦の中には毎年楽し



▲見事なお手なみ

みにされている方もいらつしやる様です。わら草履り、ミ二福俵や、竹とんぼ作りに参加した子供達は上手には出来なかつたが一生懸命最後まで頑張つて作つていた姿には感心致しました。作品は不出来でも草履を履いて得意げに歩き回る子、大切そうに持つて帰る子供みんな明るい満足顔をしていました。

十二種類の竹は文化祭終了後は香川小学校で教材として生徒さんが育て面倒みて下さるそうです。

第二会場の自治会館では鎌倉彫、書道、はり絵、菊花展とまだ色々展示されていたがどれも力作揃いが展示されていました。作品を出品された方々、各団体の役員の皆様本当にご苦労様でした。



▶鎌倉彫



▶神奈川新聞にも載ったわら芸



▶商工会福引

敬老の集い

十月二十五日(日)茅ヶ崎市柳島記念会館において香川自治会主催で恒例の敬老の集いが開かれました。今年よりお年寄りの参加年令を五才繰下げ七十才より参加して頂き仲秋の一日を楽しんで頂きました。

当日は朝の内は小雨模様、空にも拘らず元気なお年寄りの顔が、友人、知人と連立って集り、バス二台に分乗し会場に向いました。

敬老の集いはお年寄りが主役で一日を楽しみ、寛いで頂くのが目的で開演前の来賓、役員、長々とした話は簡単に終らせる様に役員会で申し合せ演芸に力を入れました。花月流「寿」に始まり、カッパのお恵ちゃん、万作祝い踊り、と午前のプログラムも進み昼



▲敬老会会場風景



食、お食事中は耳で聞く飛入りカラオケ、午後は詩吟、むらさき小唄、女の夜明け、と時間もあつと云う間に過ぎ最後の番組「好きになつた人」では会場内に大きな輪が出来お年寄りの手調子で踊りの輪も広がり無事にフィナーレを飾る事が出来た事を感謝致します。

広報委員



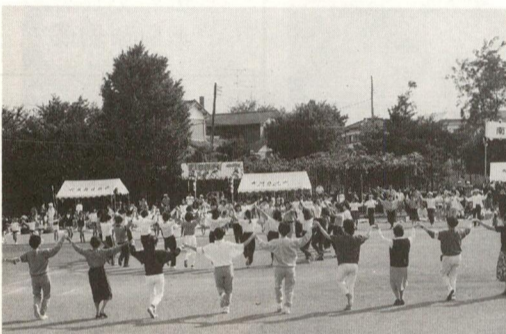
秋空のもと

第19回地区体育大会開かれる

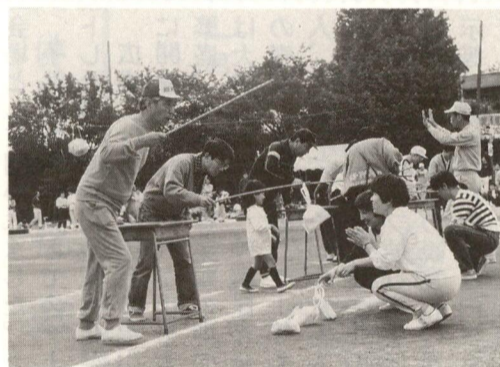
香川地区体育振興会会長 上原 博

第19回体育大会に際し各種団体の協力を得まして大過なく終了出来ました事を厚くお礼申し上げます。運営上種々各位には御不満の点もあつた事と存じますが、経費、設備面にも大変苦しい運営であります。もつと一般的の種目を増す事、賞品についても良い物とか色々ありますが来年度は20周年の記念すべき年でもありますのでプログラム等にも色々検討し少しでも住民の方々に添える様に出来る事と思ひます。

我々役員はほとんどが勤人です。特にボランティアと云う事にて役員一同出来得る限りの時間を作り協力して居りますので其の点をおふくみ下さい。今後共益々住民の皆様の絶大なる協力と、ご支援を、よろしく願ひします。



▲皆んなで楽しいフォークダンス



▲つれた! つれた!



福祉の芽ばえ

湘北地区社会福祉協議会 会長 熊沢幸一

香川の高令化比率は、湘北地区(五自治会)の中で一位をしめている。柳島記念会館での香川自治会主催による、敬老のつどい等は、お年寄りの福祉活動の一つと考えるならば人口九六〇〇人余りの香川地区では立派な運動として、

他にも展開し得る素地をもっています。

人々から親切にされれば、お年寄りもこれに答えてくださるもので、例えば、道路に転がっている空き缶の回収や、ゴミ整理もしてください。

香川には、豊饒な方が大勢おられます。地域のため、人のためにと、汗を流すことをよしとされる人は少なくない。過日の文化祭も、各所でふれあいの輪が大きく広がり、香川全域に文化啓蒙のきざしが多く見受けられた。是非、これから、皆様と共に、心豊かな街にしたいものであります。

人生八〇年時代を如何に楽しく、意義ある生き方にするかは、だれしもが願うところであります。私は福祉と云うことを考えるとき、熟年の交流が、その中心をなすものと思われまふ。特に隣り同士の付き合いは、その基幹をなすもので、高令者同士、友人・知人同士とその輪が広がっていくことが、子供達の心を豊かにすることとなります。つまり交流計画が実現できれば、そこに友愛精神が芽ばえ、福祉活動の火つけ役となつて始動し、このサイクルにより、香川全域が明るい挨拶の出来る街になるものと確信し、熟年者の交流を提唱するものであります。

最近の傾向として、生んでも育てる意志のない親、血のつながりがあつても他人、愛情をもつて育ててくれる人や面倒をみてくれる人のみが見え、と云えるような、血縁よりも愛情主義へと変つて参り、民

法改正による親子革命が起きているような、困った時代になつたものです。

最近、お年寄りの会話の中に「昔はよかつた、もう一度昔に返えつてみたい」と述べられる方が多い。若き頃の純粋さが失われた現われではないでしょうか。私はこれらの方々に香川の街作りをお願いしたい。すぐれた昔話の語り手となり街づくりの精神を教える事により次の時代を背おう人々を形成して下さるものと思ふからであります。古老の方は社会的な機能者であり、地域文化の推進を担っていた第一者者です。

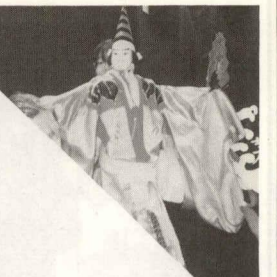
自然との出会い、人との出会い、そして強いて言えば、それが香川の歴史の出合いであります。それ故に社会福祉の一役員として以上の事を提唱するものであります。



▶老人福祉の一貫として十月二十八日、無料で行なわれた、マッサージ講習会。

文楽と人形劇

かがわ文庫10周年記念行事



▶ 県立茅ヶ崎高校生の熱演

文楽

地域の子供達に「良い本をたくさん読んで欲しい」との願いから、香川小学校PTAで知り合ったお母さん達と五



寿式二人三番叟

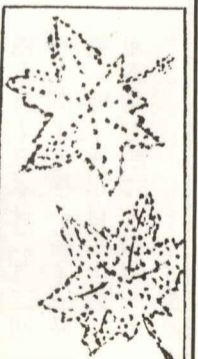
いす。十年一昔とよくいわれませんが、メンバーのお母さん達もかなり入れかわってはおりませんが、いつも自分の子供だけでなく地域の子どもも同じようにと、本や、子供にかける気持ちは変わらなごまでやってきました。それは、文庫メン



バーだけでなく、地域住民の方々、そして自治会の理解ある援助のおかげと感謝しております。そこで十周年の記念行事として何かふさわしいもの、地域の方々、子供達の心に残るものを計画しようと例会で話し合った結果、日本の伝統芸能はどうかということになりました。幸い地元の茅ヶ崎高校で、長い伝統を引き継いでいる文楽同好会があるというので、さっそくお願いにいきましたところ、心よくお引き受けくださりこの十月四日に公演をもつことが出来ました。「乙女文楽」というのは、少女の演じ手が一人で人形一体を扱う「一人遣い」が特徴です。今回は「寿式二人三番叟」と巡礼おつるで名高い「傾城阿波の鳴門」の二本でしたが顧問の先生のわかりやすい解説と桐竹師匠はじめ、生徒さん達の熱演、生の義太夫、三味線を目の前で聞くことが出来感激しました。ひとつ残念なことは、高学年、中学生の子供達ももう少し見に来てくれるとよかったのに……と思います。しかし一地域でこの様な公演がもてたことはとてもうれしく、なおいつそ茅高文楽同好会が活躍されることを期待しております。少しでも古典芸能にふれたことで何か得るものがあつたら文庫一同喜びにたえません。

人形劇

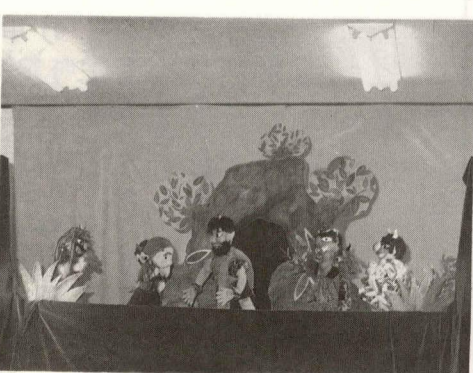
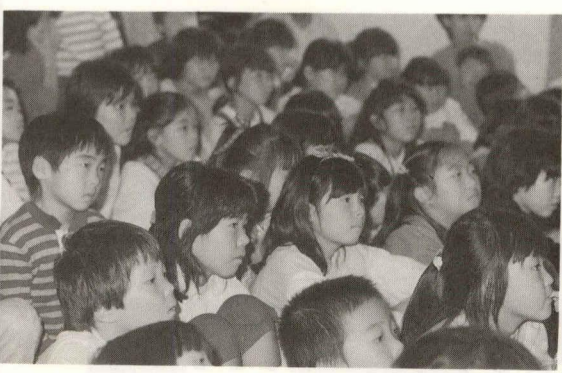
▶ 義太夫の先生方



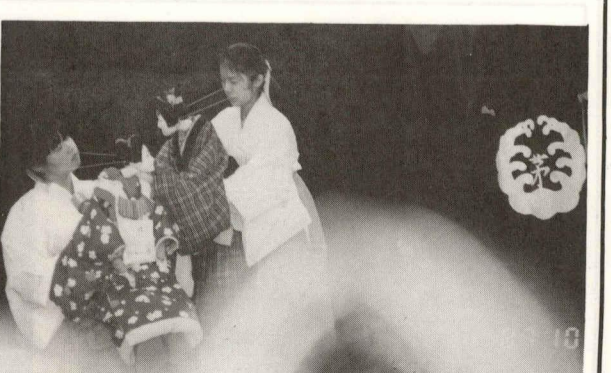
十月十七日(土)午後二時から、低学年向き人形劇、劇団「あかまんま」の公演があつた。これも十周年の記念行事として、文楽に続き行ったものです。たくさんの子供達とお母さん達が、台風の余波の強い風の中を見にきてくれました。

鳩ポツポツ体操、しよじよじのためきばやしと、かわいいオープニング「三びきのこぶた」パネルシアター「三びきのやぎのがらがらどん」、「こぶとり」とプログラムが進み、劇に夢中になっている子供達の姿がありました。

「これを機に子供達が本をますます読み、本好きになってくれたらうれしい」と締めくくられました。かがわ文庫 山本日出子



▶ 傾城阿波の鳴門



防災

365日が防災の日

防災について

総務委員長
石嶋 一男

防災と云う言葉がささやかれるようになり、かなりの年月が経過している。防災とは読んで字のごとく、^{ちか}災を防ぐことである。しかし天災という災はいつ起るか分からない、地震の予知が完全に来るも

のなか、あの大島の噴火すら誰がはつきりと予知出来たろうか、今我々が住んでいる神奈川県でも地震が発生してもおかしくないと思う、そのためにはそういう災害の時の被害を如何に最少限度に食い止めるかということが大事なことなのである。国をはじめ、神奈川県、特に県西部を中心に自治体等が自主防災に力を入れて来た。東海地震の発生が特に心配されるから

だ。茅ヶ崎市に於ても、災害時には早く対応出来るよう万全の準備は行っている。香川自治会でも毎年防災訓練を行い防災に対する意識の向上に努めて来た。本年も十月二十四日雨の中、香川自治会館に於て、多数の方の参加を得て、救急法や非常食の炊き出し、試食、また災害時の対応等消防署の職員の説明を熱心に聞いて勉強した。本年は香川で開業している医院の先生、香川在住の市立病院に勤務される看護婦の方々に出席していただき、災害時の医療対策救急法等の説明、指導を受け、有意義な訓練を行った。会員の皆様には常日頃防災について関心を高められ、災害時には落ちついた対応が出来るよう心掛けて下さい。



▲緊急用浄水装置の実演



▲炊き出し風景

自治会行事

十一月中旬

道路、下水関係補修点検
ゴミ関係集積場確認打合せ

十二月

執行部各部の残務打ち合せ
防災倉庫点検

金婚式該当者調べ

会計部打ち合せ(地区会計)
清掃関係(町内、駅前、自治会館内、外)

一月

賀詞交換会
新組長のまとめ

俳句茅花会

熊沢 幸一
コスモスの蝶のなすま、
揺れいたり
木洩れ日は老ひたり栗拾ひ

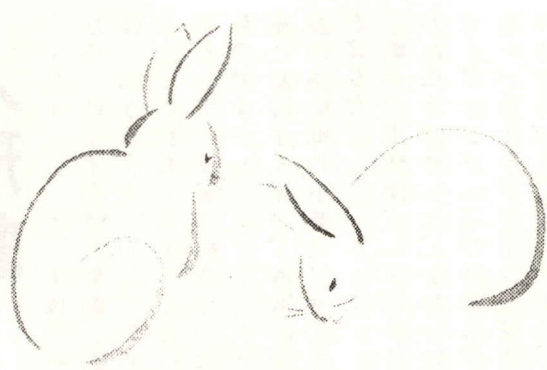
藤村 球子
月の出をつんぼううなづき
あたりけり
鈍行の稲の匂ひの中を行く

碓 百合子
をこの手 大きくありし衣被
萩寺を巡りてきたる湯きかな

長島 久江
植木職継ぐ子がいたり新松子
父母あらぬ故郷となりぬ鱸雲

杳沢 みや
三世帯にそれぞれの朝無汁
昼過ぎの日の翳り出す赤のまま
三橋クニ枝
幼な児の手にあまる諸掘りにけり
木庫の花殻を掃き客迎ふ

平塚 司郎
衣被荒塩佳しとしたりけり
いなびかり釣鐘軽くなりけり



亜幽夢美術研究会

あゆむ
大人も、子供も一緒に楽しく絵の勉強をしています。絵を描き、自然を学ぶことは心を豊かにし、考え方に余裕が出来ます。楽しい趣味を持つて、肉体の健康と共に心の健康を保つよう、皆様も一緒にいかがですか。

指導者 山本和恵
(多摩美術大学日本画科卒)

稽古日 日曜日(月二回)
時間 午後一時~五時迄
場所 香川自治会館
連絡先 57-6417
氏原迄

編集後記

花いっぱい運動
春は花咲き、秋は実のるものと、誰もが信じており、春が来れば、花を愛でて安らぎのひと時を花の下ですごすものです。なかでも、花の王様は桜の花です。

香川自治会では、今回、「そめい吉野」の苗木を、一家庭一本限り、無料配布することとし、後日、回覧板で申込を受けることとしました。多数申込の場合は、数に制限があり、抽選配布となります。

各家庭では、子供等の誕生記念とか、入学記念など、種々、考えられるでしょう。街としては、緑豊かな街づくり運動ともなります。桜は害虫が着き易いので、自治会としては、市にお願いして駆除するように努力することを考えております。

広報委員

計報

62年	9月2日	第四町内会24の2組	63才
	9月18日	国谷美津子殿	63才
	9月18日	第四町内会3の5組	84才
	9月23日	上原 キヨ殿	84才
	9月23日	第三町内会	26組
	10月2日	山下ハルミ殿	38才
	10月2日	第四町内会38の2組	47才
	10月9日	曾倉ツルイ殿	47才
	10月9日	第四町内会34の1組	84才
	10月21日	三橋 正吉殿	84才
	10月21日	第二町内会41の2組	53才
	10月21日	狩野 和男殿	53才

謹しんでお悔み申し上げます。